

昭和四十七年十二月六日

八四一A B C D E

トヨタ、カリーナハードトップを新発売

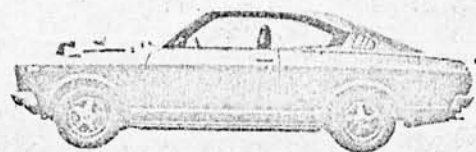
同時に、セダンに一六〇〇GT四ドアを追加

トヨタ自動車販売(株)は、小型乗用車カリーナに、ハードトップシリーズ(一四〇〇デラックス、一六〇〇デラックス、一六〇〇スーパーデラックス、一六〇〇ST、一六〇〇SR、一六〇〇GTの計六タイプ、十四車種)を新設、同時に、セダン系にも一六〇〇GT四ドアを追加し、十二月六日、全国一斉に発売する。これにより、従来セダン系のみであったカリーナシリーズは十二タイプ、四十二車種をもつ充実したシリーズとなった。

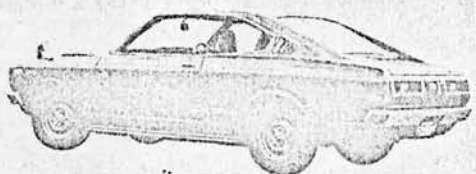
カリーナにハードトップシリーズを新設した狙いは、最近の乗用車市場全般にみられる顕著な個性化及びスポーティ化現象、なかでも小型乗用車市場におけるハードトップ需要の増大と多様化に対応することである。従って、カリーナハードトップの開発に当っては、スタイル、装備、性能などの面で、特に洗練された個性の追求に努め、又車種の構成についても、ファミリードライブからスポーティドライブにいたる幅広い需要層に対応しうるものとした。

カリーナハードトップの概要は、別紙のとおりであるが、主なポイントをあげれば、

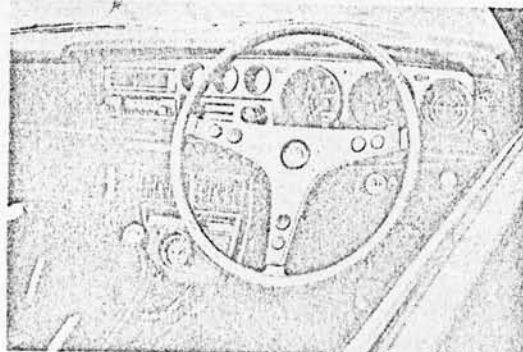
(1) セダン系より全高を45mm(GTで50mm、SRでは55mm)低くし、大きく後方まで開放されたクォーターウィンドを採用したことにより、開放感にあふれた流麗なスタイルを完成した。



カリーナハードトップ (1600 GT (TA11-MG)) 12.11



カリーナハードトップ (1600 SR (TA11-MG)) 12.11
※マイクログラフマイク(1600GT/1600SR)はオプション



カリーナハードトップ (1600 GT (TA11-MG)) 12.11

(2) 幅広く力強いラジエーターグリルとリヤクォーターフィンが背びれのよう
うに流れるリヤスタイルが、カリナーの個性を強調している。

(3) サイドウインドのガラス関係部品の改良により、風切り音の防止を図り、
静かなハードトップを完成した。

(4) 断熱材遮音材などを一体化し、熱プレス成型して造りあげた成型天井を
全車種に採用、従来ハードトップの難点であった乗員頭上空間（ヘッドク
リアランス）の確保に成功するとともに、安全性の高いボディ構造となっ
た。

(5) セダン系に比し、サスペンションを強化し、走行安定性を増大すると
もに、最高速度等の走行性能を一段と向上した。
などである。

なお、今回セダン系に追加発売した一六〇〇GT四ドアの性能及び主要諸
元は、車両（総）重量、登坂能力を除き（別紙参照）、従来の一六〇〇GT二
ドアセダンと同じである。

トヨタカリナーの販売目標は、当面、月販それぞれ、セダン九〇〇〇台、
ハードトップ六〇〇〇台、シリーズでは一五〇〇〇台である。

ハードトップシリーズ及びカリナー一六〇〇GT四ドアの価格は別表のと
おりである。

トヨタ・カリナー・ハードトップ車両概要

一 外観・スタイル

① セダン系より全高を45mm（GTで50mm、SRでは55mm）低くし、後部側
面のゆるやかな傾斜曲線、大きく後方まで開放されたクォーターウインド
の採用等により、スポーティで開放感にあふれ、都会的なセンスのスマー
トな車である。

② ラジエーターグリルは、二個のヘッドランプの間に車幅灯を配した、所
謂六灯式の斬新なデザインとした。

③ 左右二本のリヤクォーターフィンが背びれのように伸びており、影りの
深い、大型のリヤコンビネーションランプと調和した立体的で豪華なりや
スタイルである。

二 内 装

① 前後席共に新設計のシートを採用し、乗りごこちの向上、乗員の居住性
を向上した。

② ヒップポイントをセダン系より前席20mm、後席65mm下げ、乗員の頭上空
間（ヘッドクリアランス）を確保するとともに、ドライブフィーリングを
向上させた。

③ 助手席シートには、ウォーク・イン機構を採用し、後席乗員の乗降を便
利にした。

三 装 備 品

- ① 一四〇〇、一六〇〇の各デラックスを除く全車種に、くもりを防止する熱線入りリヤウィンドを標準装備した。
- ② オートアンテナをGTに標準装備し、STにはオプションで設定した。
- ③ SRにラジアルタイヤ（一六五SR一三）を標準装備とし、GT、SRには超ワイドラジアルタイヤ（ $185/70$ HR一三）をオプションで設定した。
- ④ ノンスリップデフをGT、SRに、パワーウィンドをGTにそれぞれオプションで設定した。
- ⑤ GTとSRのステアリングホイールは、革巻三本スポークとした。
- ⑥ 計器盤と直結した大型フルコンソールボックス及び独立五眼式メーター（水温計、燃料計、油圧計、速度計、時計又はタコメーター）の全車標準装備など、装備品関係は、セダン系各車種と略々同じである。

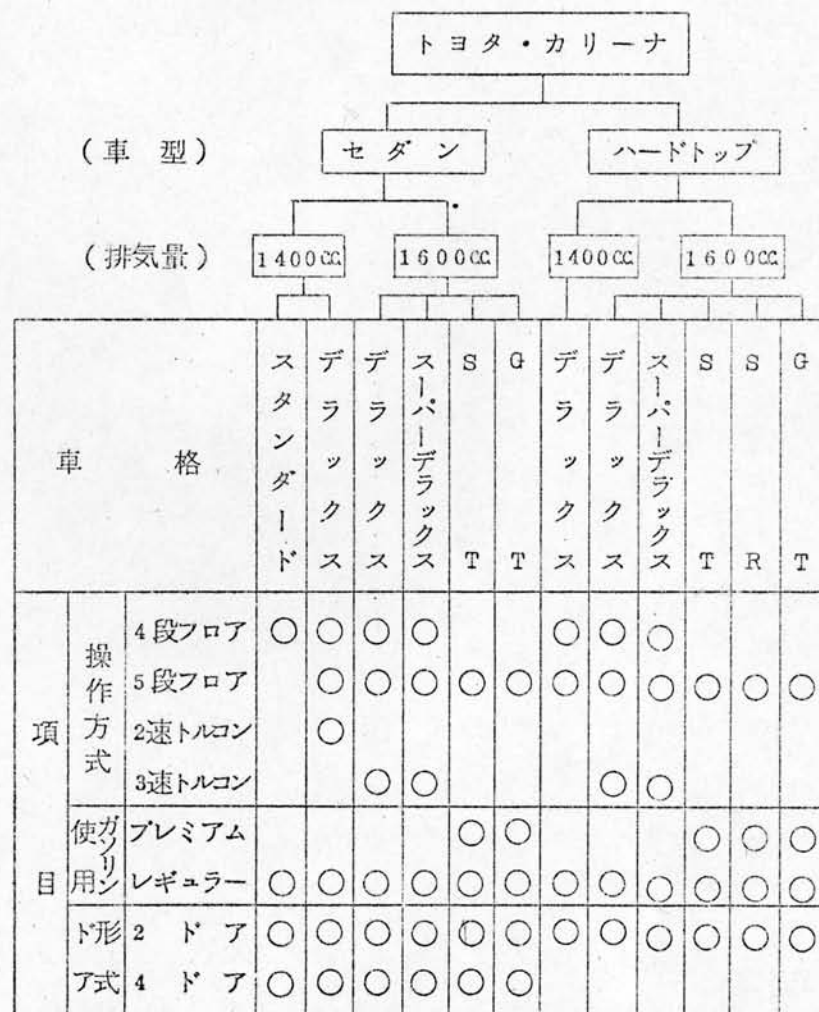
四 機能の向上

- ① 成型天井の採用により、セダンと遜色のない乗員の頭上空間（ヘッドクリアランス）を確保し、かつ断熱、防音効果に優れた安全性の高いボディ構造となった。
- ② 左右二本の背びれのように伸びるリヤクォーターフィンが空力特性を改良し、走行安定性をより増加させた。
- ③ サスペンションを全般にわたって強化し、操縦性の向上を図るとともに、ドライブフィーリングの改善を図った。
- ④ サイドウィンドのガラス及びガラス部品関係の改良を行ない、ドア・ガラスの剛性向上、開閉時のフィーリングの向上に努め、高速走行時の風切音を低下させた。
- ⑤ ST、SR、GTのフロントフードにレリーフオーナメントを設け、スポーティな外観にするとともに、エンジンルーム内の換気機能を図った。

五 安全・公害対策

- ① 駐車灯兼用の車幅灯、及びフロントターニングナルランプ（前方方向指示灯）のレンズ面積を大きくし、視認性の向上を図った。
- ② 一四〇〇デラックスを除く全車種にタンデムマスタシリンダ、Pバルブ付前輪ディスクブレーキを採用した。
- ③ ガラスの剛性向上を図るため、サイドガラスの板厚をセダン系より1mm厚くし5mmのものとした。
- ④ 燃料蒸発ガス排出抑止装置、及び速度警報装置の装着など、その他の安全・公害対策はセダン系に準じて実施した。

◎トヨタ・カリーナ車種体系一覧表



◎カリーナ・ハードトップ標準価格一覧表

(スベアタイヤ・標準工具一式付) 単位千円)

車 名	東京	名古屋	大阪	備考
一四〇〇デラックス(四段フロアシフト)	六四二	六三七	六四二	○
一六〇〇デラックス(四段フロアシフト)	六八二	六七七	六八二	○△
一六〇〇スーパーデラックス(四段フロアシフト)	七〇三	六九八	七〇三	○△
一六〇〇〇 S T	七五三	七四八	七五三	※
一六〇〇〇 S R	七五三	七四八	七五三	※
一六〇〇〇 G T	八七三	八六八	八七三	※

備考欄

- ・〇印車には、五段フロアシフト車もあり、価格は各地区とも同格四段フロア車の一万五千円高である。
- ・△印車には、三速フロア・トルコン車もあり、価格は各地区とも同格四段フロアシフト車の五万五千円高である。
- ・※印車には、レギュラーガソリン仕様車もあり、価格は各地区とも、各基本車種と同じである。

◎カリーナ一六〇〇GT・四ドア標準価格

(スベアタイヤ・標準工具一式付) 単位千円)

車 名	東京	名古屋	大阪
一六〇〇GT・四ドア	八三八	八三三	八三八

- ・右記価格は、一六〇〇GT・二ドアの二万円高である。
- ・レギュラーガソリン仕様車の価格も同じである。

カーリーナハードトップ主要諸元

()内は185/70HR13タイヤを標準装備の場合 ()内はレギュラー・カノン仕様

車名	カーリーナ ハードトップ 1600GT	カーリーナ ハードトップ 1600SR	カーリーナ ハードトップ 1600ST	カーリーナ ハードトップ 1600 スーパーデラックス			カーリーナ ハードトップ 1600 デラックス			カーリーナ ハードトップ 1400 デラックス	
運転タイプ	5段 フロアシフト	5段 フロアシフト	5段 フロアシフト	4段 フロアシフト	5段 フロアシフト	5速 オートマチック フロアシフト	4段 フロアシフト	5段 フロアシフト	5速 オートマチック フロアシフト	4段 フロアシフト	5段 フロアシフト
車両型式	TA17-MQ(CD)	TA17-MX(CD)	TA17-MZ(CD)	TA17-KN	TA17-MN	TA17-JN	TA17-KD	TA17-MD	TA17-HD	TA15-KD	TA15-MD
*寸法・重量											
全長 mm	4,155	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全幅 mm	1,580	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全高 mm	1,335	1,335	1,340	—	—	—	—	—	—	—	—
ホイールベース mm	2,425	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
トレッド (前) mm	1,280(1,300)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
— (後) mm	1,285(1,305)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最低地上高 mm	170	165	170	—	—	—	—	—	—	175	—
室内長 mm	1,670	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
室内幅 mm	1,320	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
室内高 mm	1,090	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
車両重量 kg	945	945	950	940	—	960	930	—	950	930	—
乗車定員名	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
車両総重量 kg	1,200	1,220	1,225	1,215	—	1,235	1,205	—	1,225	1,205	—
*性能											
最高速度 (法定) km/h	190(185)	180	—	170	175	160	170	175	160	165	170
登坂能力 tan θ	0.50(0.57)	0.50(0.53)	—	0.54	0.58	0.54	0.55	0.59	0.55	0.48	0.51
最小回転半径 m	4.8(中5.2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
*エンジン											
エンジン型式	4気筒直列DOHC 2T-G(CD)	4気筒直列OHV 2T-BC(CD)	—	—	—	4気筒直列OHV 2T	—	—	—	4気筒直列OHV T	—
内径×行程 mm	85.0×70.0	—	—	—	—	—	—	—	—	80.0×70.0	—
総排気量 cc	1,588	—	—	—	—	—	—	—	—	1,407	—
圧縮比	9.8(8.8)	9.4(8.5)	—	—	—	8.5	—	—	—	—	—
最高出力 PS/r.p.m.	115/6,000(119/6,000)	105/6,000(100/6,000)	—	—	—	100/6,000	—	—	—	86/6,000	—
最大トルク kg-m/r.p.m.	4.5/5,200(4.0/4,800)	4.0/4,200(3.9/4,200)	—	—	—	13.7/3,800	—	—	—	11.7/3,800	—
燃料タンク容量 l	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
*走行伝達装置											
クラッチ形式	軽便単板ダイヤフラム式					3速兼1段2相式	軽便単板ダイヤフラム式		3速兼1段2相式	軽便単板ダイヤフラム式	
トランスミッション	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ	前進4段 後退1段 1,2,3,4速 オールシンクロ	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ	前進3段 後退1段 1,2,3,4速 オートマチック フロアシフト	前進4段 後退1段 1,2,3,4速 オールシンクロ	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ	前進3段 後退1段 オートマチック	前進4段 後退1段 1,2,3,4速 オールシンクロ	前進5段 後退1段 1,2,3,4,5速 オールシンクロ
	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式	操作方式
加速比 第1速	3.587	3.587	3.587	3.507	3.587	2.400	3.587	3.587	2.400	3.587	3.587
— 第2速	2.022	2.022	2.022	2.022	2.022	1.479	2.022	2.022	1.479	2.022	2.022
— 第3速	1.384	1.384	1.384	1.384	1.384	1.000	1.384	1.384	1.000	1.384	1.384
— 第4速	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	—	1.000	—	—	1.000	1.000
— 第5速	0.861	0.861	0.861	—	0.861	—	—	0.861	—	—	0.861
— 後退	3.484	3.484	3.484	3.484	3.484	1.920	3.484	3.484	1.920	3.484	3.484
減速機歯車形式	ハイボイド										
減速機減速比	4.111	4.111	4.111	3.960	4.111	4.111	3.900	4.111	4.111	4.100	4.300
ステアリング形式	リサ・キューレーティング・ボール式										
ステアリング歯車比	10:1										
制動形式	ストローク独立懸架方式・コイルスプリング										
後車輪形式	リンク・ラダーロッド付きコイルスプリング										
ブレーキ (前)	ディスク										
— (後)	リーディング・トレーリング										
駐車ブレーキ形式	機械式後車輪制動										
タイヤ	6.45-13-4PR 標準型タイヤ [185/70HR13 JTBワイドワレスタイヤ]	[655HR13 カシアルタイヤ 185/70HR13 JTBワイドワレスタイヤ]	6.45-13-4PR 標準型タイヤ	5.60-13-4PR チューブレスタイヤ							

直轄各店内法による簡易検査結果

本誌は改良のため若干の変更をすることがあります

◎カーリーナ一六〇〇GT四ドアと二ドアの相違点

項目	四ドア	二ドア
車両重量 kg	九八〇	九六〇
車両総重量 kg	一二五五	一二三五
登坂能力 tan θ	〇・六〇 (レギュラー仕様・五セ)	〇・六二 (レギュラー仕様・五九)

なお、右記三項目以外の主要諸元はすべて同じである。